

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート（令和 6 年度）

重要業績評価指標 (KPI) 一覧表

基本目標 1 安定した雇用の確保と地域産業力の強化

区分	評価指標	取組状況	目標値	実績値	評価
基本目標指標	企業立地や奨励金交付事業による村内新規雇用者数	雇用促進奨励金は、工場の敷地面積3,000㎡以上、もしくは建築面積1,000㎡以上のいずれかに該当し、かつ操業開始時に村内に住所を有している雇用者が5人以上で、引き続き1年以上継続して雇用していることが交付要件であり、1回限り1人につき20万円程度で限度額が50人×20万円(1,000万円)である。 令和6年度も、約6,000㎡の残地が分譲とならなかったが、令和7年度中に分譲契約予定。 なお、令和3年度に分譲となった(株)フジ電科は、令和8年度11月の創業予定。	15名 (R2~R6累計)	21名	5 達成 (100%以上)
	固定資産税課税免除実施数	東日本大震災復興特別区域法及び企業立地促進法、新過疎法等に基づき、事業者が事業のための施設又は設備の新設又は増設を行った場合の固定資産税の課税免除をしている。	15社 (R2~R6累計)	17社	5 達成 (100%以上)
重要業績評価指標	新たな交流の場の創出	道の駅の機能を拡充し、道の駅を拠点とした交流機会の創出と地域経済の活性化を図るため、各種交付金、補助金を活用し、村の魅力である自然環境と調和した「てんえいふるさと公園」の整備に取り組む。	1件 (R6)	0件	4 ほぼ達成 (80%~99%)
	新規就農者数	長ネギ生産者1件、きゅうり生産者1件及び米生産者1件を、国の交付金を活用し支援している。	8人 (R2~R6累計)	6人	3 未達成 (80%未満)
	自立支援事業による相談、就労支援件数	平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者自立支援制度として、自立相談支援事業を実施。県から県社協への委託(本村担当窓口は県中・県南生活自立サポートセンター)。訪問支援(アウトリーチ)も含め、生活と就労に関する相談をワンストップ型窓口として機能している。	相談60件 (R2~R6累計) 就労支援10件 (R2~R6累計)	相談55件 就労支援24件	4 ほぼ達成 (80%~99%)

基本目標 2 天栄村への新しいひとの流れの創出

区分	評価指標	取組状況	目標値	実績値	評価
基本目標指標	純異動数(転入-転出)	-	-22 (R2~6平均)	-11	5 達成 (100%以上)
重要業績評価指標	移住・二地域居住問い合わせ件数	地方創生推進交付金を利用し、移住希望者と空き家のマッチングや移住に関する相談窓口の充実を図るため、H30より移住コーディネーターを配置しR2からは(一社)天栄ふるさと夢学校へ移住相談窓口等業務を委託している。移住コーディネーターによる移住相談は空き家のマッチングが主であるが、首都圏イベントにも参加し、移住定住の促進を図っている。	250件 (R6)	116件	2 未達成 (50%未満)
	移住定住希望者現地検討会参加者数	コロナ禍によりR2年度R3年度の実施は見送り、R4年度はこおりやま広域圏市町村の合同地域体験ツアーを実施。令和5年度からは短期滞在住宅を利用し、短期滞在と地域体験を合わせて行うオーダーメイド移住体験事業を実施した。	40人 (R6)	17人	2 未達成 (50%未満)

基本目標 2 天栄村への新しいひとの流れの創出

区分	評価指標	取組状況	目標値	実績値	評価
重要業績評価指標	移住希望者短期滞在支援者数	村内に移住希望者が生活体験を行う短期滞在住宅を1棟整備し令和5年8月より利用を開始、短期滞在与地域体験を合わせて行うオーダーメイド型の移住体験事業を実施している。	25人 (R6)	14人	3 未達成 (80% 未満)
	空き家バンク相談件数	空き家の利活用及び中古住宅の流通促進を通して、空き家の発生や増加を抑制するとともに、地域の活性化及び地域の環境保全を図ることを目的に、村内の空き家の所在や詳細の把握、所有者へ空き家バンク登録への誘導や促進、利用希望者への現地案内等の調整を行った。	40件 (R6)	5件	2 未達成 (50% 未満)
	片付け・リフォーム補助利用件数	空き家バンク登録物件所有者または利用者が登録物件に居住するための家財処分や改修等費用に対し、最大3/5、150万円の補助を行っている。	3件 (R6)	1件	2 未達成 (50% 未満)
	関係人口創出のための取り組み回数	天栄ファンクラブ制度の運営、村オリジナルグッズ作成・配布、カレンダー作成、PR大使を活用した事業等、さまざまなターゲットに対して関係人口創出の取り組みを実施した。	4回 (R6)	4回	5 達成 (100%以上)
	観光入込客数	天栄村観光協会と連携し、観光PRや教育旅行等の誘致活動、天栄村サポーター事業、宿泊補助事業等を実施し、誘客の促進に努めた。	470千人 (R6)	521千人	5 達成 (100%以上)
	滞在型誘客促進事業	令和2年度で事業終了。	100件 (R6)	-	1 未実施・把握できない

基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実

区分	評価指標	取組状況	目標値	実績値	評価
基本目標指標	合計特殊出生率 出生数	子育て支援に関する支援事業の見直し、補助事業の拡充と実施。	1.3 (R2～R6 平均)	1.04	3 未達成 (80% 未満)
			195名 (R2～R6 累計)	94名	
重要業績評価指標	てんえい縁結び応援サポーターによる婚約数	独身者がいつでも気軽に相談できる体制確保のため縁結び応援サポーター制度を充実させ、地域の結婚希望の男女の出会いの創出やきっかけづくりに繋げる。	5組 (R2～6累 計)	1組	2 未達成 (50% 未満)
	特定不妊治療費助成による妊娠成功件数	特定不妊治療の保険適用に伴い、助成事業廃止	8件 (R2～R6 累計)	3件	1 未実施・把握 できない
	周産期死亡数	妊娠届があった妊婦に対して、母子健康手帳及び妊婦健康診査受診票(15回分公費負担)を交付し、妊娠早期から継続的な支援を実施している。	0件 (R6)	0件	5 達成 (100%以 上)
	全国学力・学習状況調査 (問題全国平均正答率の比較)	県教育委員会による「第7次福島県総合教育計画」による“学びの変革推進プラン”を展開していく中で、学びの変革によって資質・能力を確実に育成することを推進するとともに、全国学力・学習状況調査とふくしま学力調査の2つの調査を効果的に活用することで、児童生徒一人ひとりの学力の伸びや学習等に対する意識、生活状況等の把握や、教育施策の成果・課題を検証し、改善策を構築していき、学力を確実に伸ばす教育を推進した。	全国平均を上回 る (R6)	小：全国平均下 回る 中：全国平均下 回る	2 未達成 (50% 未満)
	英検3級取得率(中学校卒業まで)	中学生が在学中を含んで中学校卒業までに全員が英語検定3級以上を取得することを目指し、年3回の英語検定の受講料を補助する。	30% (R6)	13.6%	2 未達成 (50% 未満)
	村外の大学生と地元住民との交流事業の開催	湯本地区合同大運動会、eスポーツ体験会等で村外の学生たちに参加していただき、地域の方との交流を図った。	400名 (R2～R6累 計)	128名	2 未達成 (50% 未満)

基本目標 4 暮らしやすい生活環境の形成

区分	評価指標	取組状況	目標値	実績値	評価
基本目標指標	”住みやすい”と答えた人の割合	令和6年10月に村内在住の15歳以上65歳未満の方から無作為に抽出した500名を対象に村民アンケートを実施した。	72.5% (R6)	55.5%	3 未達成 (80%未満)
重要業績評価指標	郡山広域圏における連携の推進	人口減少・少子高齢化社会においても、活力ある地域経済を維持するとともに、圏域住民全体が将来も安心して快適な生活が送れる地域づくりを目指し、17市町村が連携し各種事業に取り組んでいく。	継続 (R2~R6)	継続	5 達成 (100%以上)
	バス・タクシー利用券の利用件数	天栄村高齢者バス利用助成事業、天栄村高齢者等タクシー利用助成事業ともに、ホームページへの掲載や各種事業、イベントに併せてチラシの配布を行い利用の促進を図った。	40件 (R6)	41件	4 ほぼ達成 (80%~99%)
	福祉車両貸出件数	福祉車両貸出事業として、村内に居住する自力で歩行が困難な高齢者や重度の身体障害者又は知的障害者等に対し、外出を支援するために福祉車両の貸出しを実施し、健康で生きがいのある長寿・福祉社会づくりを図る。	50件 (R6)	21件	2 未達成 (50%未満)
	高齢者生きがい活動支援事業参加者数	高齢者の生きがいづくりを目的に、湯ったりミニデイサービス事業、ノルディックウォーク事業、いきいきサロン事業、湯本サロン事業を実施している。	300人 (R6)	96人	2 未達成 (50%未満)
	地域自主サロン数及び参加者数	地域コミュニティ及び健康増進、介護予防の推進のため、各地区又はグループによる茶話会に健康体操や栄養指導、口腔衛生指導を実施。	8か所 (R6)	5か所	3 未達成 (80%未満)
	生涯学習センター利用者数 体育施設利用者数	生涯学習センターについては、各種講座等主催事業の他、各種団体等への会議、活動への貸し出し利用、また、一般の方々等の図書室利用や中学生の下校時の待機場所としての利用がある。 また、体育施設については天栄村総合農村運動広場、天栄村体育館、天栄村屋内運動場、天栄村屋内スポーツ運動場を村主催行事の他、村内外の個人、団体及び中学校の部活動等に貸し出ししており、令和5年12月より村内の高校生以下の利用は無料としている。	92,000人 (R6)	140,572人	3 未達成 (80%未満)
			39,000人 (R6)	21,621人	
ふるさとサポーター会員数	天栄村を支えていただける応援団「天栄村サポーター」を募集する。サポーターには、HPやSNS等によりイベント等の案内を随時お知らせし、天栄村を応援いただく。さらに、村特産品及び商品紹介のチラシ等を送付し、更なるサポーターの獲得を図る。	550人 (R6)	600人	5 達成 (100%以上)	

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和6年度)

基本目標		基本目標1 安定した雇用の確保と地域産業力の強化						
基本目標指標	企業立地や奨励金交付事業による村内新規雇用者数		目標値	15名	(R2~R6累計)	担当課	産業課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		7名		(0社)		
	目標と実績	R2	15名		0名	0.0%	(0社)	
		R3			1名	6.7%	(1社)	
		R4			5名	40.0%	(3社)	
		R5			8名	93.3%	(4社)	
		R6			7名	140.0%	(5社)	
合計		15名	21名	140.0%	(8社)			
主な事業の取組状況(D)	雇用促進奨励金は、工場の敷地面積3,000㎡以上、もしくは建築面積1,000㎡以上のいずれかに該当し、かつ操業開始時に村内に住所を有している雇用者が5人以上で、引き続き1年以上継続して雇用していることが交付要件であり、1回限り1人につき20万円で限度額が50人×20万円(1,000万円)である。令和6年度も、約6,000㎡の残地が分譲とならなかったが、令和7年度中に分譲契約予定。なお、令和3年度に分譲となった(株)フジ電科は、令和8年度11月の創業予定。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	5 達成(100%以上)	問題・課題等(C)	今後も残地の誘致活動を行い、誘致企業に対し村民の雇用を促進する。				
指標および目標値の評価(C)	評価							理由
	4 現状維持	今後も、村民の雇用の場を創出するため、現状維持とする。						
今後の方針・改善策等(A)	分譲会社と連携を取りながら雇用の創出、地域産業力の強化を図っていきたい。							

施策		1. 地域産業の活性化						
重要業績評価指標(KPI)	固定資産税課税免除実施数		目標値	15社	(R2~R6累計)	担当課	税務課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		15社				
	目標と実績	R2	15社		5社	33.3%		
		R3			4社	60.0%		
		R4			2社	73.3%		
		R5			2社	86.7%		
		R6			4社	113.3%		
合計		15社	17社	113.3%				
主な事業の取組状況	東日本大震災復興特別区域法及び企業立地促進法、新過疎法等に基づき、事業者が事業のための施設又は設備の新設又は増設を行った場合の固定資産税の課税免除をしている。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	5 達成(100%以上)	問題・課題等(C)	制度の周知が必要と思われる。				
指標および目標値の評価(C)	評価							理由
	4 現状維持	新過疎法による減収補填も開始されていることから、現状維持でよいと考える。						
今後の方針・改善策等(A)	新過疎法に係る減収補填が開始されているため、村HP等を活用しさらなる制度の周知を図りたい。							

重要業績評価指標 (KPI)	新たな交流の場の創出			目標値	1件	(R6)	担当課	産業課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	R1		-					
	目標と実績	R2	1件		0件	0.0%	第2期造成工事完了		
		R3			0件	0.0%	第3期造成工事完了		
		R4			0件	0.0%	直売施設新築・駐車場整備工事完了		
		R5			0件	0.0%	広場施設整備工事完了		
		R6			0件	0.0%	遊具設置工事完了		
		合計							
主な事業の取組状況	道の駅の機能を拡充し、道の駅を拠点とした交流機会の創出と地域経済の活性化を図るため、各種交付金、補助金を活用し、村の魅力である自然環境と調和した「てんえいふるさと公園」の整備に取り組む。								
目標(KPI)達成分析(C)	評価	4 ほぼ達成(80%~99%)	問題・課題等(C)	てんえいふるさと公園整備の完了後の運用について、検討を進める必要がある。					
指標および目標値の評価(C)	評価								理由
今後の方針・改善策等(A)	4 現状維持								
	R7年度の完了に向けて、引き続き整備を進めていく。								
	国の交付金等の特定財源を受け、R7年度に広場施設の整備工事等を進め、事業の完成を目指し、道の駅を拠点とした交流機会の創出と地域経済の活性化を図る。								

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和6年度)

基本目標	基本目標1 安定した雇用の確保と地域産業力の強化							
施策	2. 持続可能な農林業の推進							
重要業績評価指標(KPI)	新規就農者数			目標値	8人	(R2～R6累計)	担当課	産業課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	H30		4人				
	目標と実績	R2	8人		1人	12.5%		
		R3			3人	50.0%	新規認定者3名	
		R4			2人	75.0%	新規認定者2名	
		R5			0人	75.0%	新規認定者0名	
		R6			0人	75.0%	新規認定者0名	
	合計		8人	6人	75.0%			
主な事業の取組状況	長ネギ生産者1件、きゅうり生産者1件及び米生産者1件を、国の交付金を活用し支援している。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)	新規就農に係る新規就農者育成総合対策事業の採択要件が厳しい状況ではあるが、JA、農業普及所、農業委員会と情報共有を図る。					
	3 未達成(80%未満)							
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
		3 数値の下方修正	気候変動及び物価高騰により収納意欲が低下し、新規就農者の発掘が困難なため。					
今後の方針・改善策等(A)	補助事業の周知や、新規就農者支援センターの取り組み強化に努め、人材の発掘を図る。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和6年度)

基本目標	基本目標1 安定した雇用の確保と地域産業力の強化								
施策	3. 就労支援								
重要業績評価指標 (KPI)	自立支援事業による相談、就労支援件数			目標値	相談	60件	(R2~R6累計)	担当課	健康福祉課
				就労支援	10件				
事業経過 (相談)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	R1	/	44件	/				
	目標と実績	R2	60件	11件	18.3%				
		R3	60件	26件	61.7%	実人数26名			
		R4	60件	9件	61.7%	実人数9名			
		R5	60件	13件	83.3%	実人数13名			
		R6	60件	5件	91.7%	実人数5名			
		合計	60件	55件	91.7%				
事業経過 (就労支援)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	R1	/	6件	/				
	目標と実績	R2	10件	6件	60.0%				
		R3	10件	4件	100.0%	3名就職			
		R4	10件	5件	150.0%	3名就職			
		R5	10件	8件	230.0%	5名就職			
		R6	10件	1件	240.0%	1名就職			
		合計	10件	24件	240.0%				
主な事業の取組状況	平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者自立支援制度として、自立相談支援事業を実施。県から県社協への委託(本村担当窓口は県中・県南生活自立サポートセンター)。訪問支援(アウトリーチ)も含め、生活と就労に関する相談をワンストップ型窓口として機能している。								
目標(KPI)達成分析(C)	評価	4 ほぼ達成(80%~99%)		問題・課題等(C)	相談から就労支援、就労に繋がっても、本人の状況により継続ができない場合も多いため、状況が深刻になる前の早い段階で相談・支援に入れるよう、住民への相談窓口の周知、発掘を行っていく必要がある。				
	理由								
指標および目標値の評価(C)	評価	理由							
	4 現状維持	R6年度は、前年を前年より少ない結果となったが、物価高騰等の影響により、今後も相談件数が増える見込みがあるため、継続的に実施していく必要がある。							
今後の方針・改善策等(A)	困窮世帯の発掘、早期介入が図れるよう相談窓口の周知及び各関係機関との連携を図る。								

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和6年度)

基本目標		基本目標2 天栄村への新しいひとの流れの創出						
基本目標指標	純異動数(転入-転出)			目標値	▲ 22	(R2~6平均)	担当課 住民課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		▲ 26		(H27~R1平均)		
	目標と実績	R2	▲ 22		▲ 38	57.9%	転入157、転出195 現住人口調査より	
		R3			▲ 34	61.1%	転入151、転出185 現住人口調査より	
		R4			0	91.7%	転入199、転出199 現住人口調査より	
		R5			16	157.1%	転入227、転出211 現住人口調査より	
		R6			1	200.0%	転入238、転出237 現住人口調査より	
平均		▲ 22		▲ 11	200.0%			
主な事業の取組状況(D)	特段の取り組み無し							
目標(KPI)達成分析(C)	評価		問題・課題等(C)	外国人就労者の増と特別養護老人ホーム入居のための転入が多く、人口増へはつながらない。				
	5 達成(100%以上)							
指標および目標値の評価(C)	評価		理由					
	4 現状維持		継続した実績値の集約や達成率の経過を計るため現状維持とする。					
今後の方針・改善策等(A)	特になし							

施策		1. UIJターンの促進・関係人口の創出						
重要業績評価指標(KPI)	移住・二地域居住問い合わせ件数			目標値	250件	(R6)	担当課 企画政策課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		238件				
	目標と実績	R2		240件	227件	94.6%	移住相談委託先(夢学校)による集計	
		R3		240件	170件	70.8%	移住相談委託先(夢学校)による集計	
		R4		245件	142件	58.0%	移住相談委託先(夢学校)による集計	
		R5		250件	126件	50.4%	移住相談委託先(夢学校)による集計	
		R6		250件	116件	46.4%	移住相談委託先(夢学校)による集計	
合計								
主な事業の取組状況	地方創生推進交付金を利用し、移住希望者と空き家のマッチングや移住に関する相談窓口の充実を図るため、H30より移住コーディネーターを配置しR2からは(一社)天栄ふるさと夢学校へ移住相談窓口等業務を委託している。移住コーディネーターによる移住相談は空き家のマッチングが主であるが、首都圏イベントにも参加し、移住定住の促進を図っている。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価		問題・課題等(C)	空き家バンクの登録物件が少なくマッチングが難しい状況が続いているため相談件数は減少しているが、新規住宅取得等の移住支援制度を利用した若い世代の移住は少しずつ増加している。				
	2 未達成(50%未満)							
指標および目標値の評価(C)	評価		理由					
	4 現状維持		まだ当面は地方移住への関心は高い傾向が続くことが予想されるため、村の受け入れの現状を勘案しつつ現状維持とする。					
今後の方針・改善策等(A)	空き家バンク担当課と協力し登録物件の充実を図るとともに、小規模住宅団地の整備など住まい確保に努め、各種補助制度と併せて移住定住の促進を図る。							

重要業績評価指標 (KPI)	移住定住希望者現地検討会参加者数			目標値	40人	(R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		30人		(R1)		
	目標と実績	R2	30人	0人	0.0%	感染症の影響により実施なし		
		R3	30人	0人	0.0%	感染症の影響により実施なし		
		R4	35人	10人	28.6%	こおりやま広域圏地域体験ツアー		
		R5	35人	17人	48.6%	オーダーメイド移住体験事業		
		R6	40人	17人	42.5%	オーダーメイド移住体験事業		
		合計						
主な事業の取組状況	コロナ禍によりR2年度R3年度の実施は見送り、R4年度はこおりやま広域圏市町村の合同地域体験ツアーを実施。令和5年度からは短期滞在住宅を利用し、短期滞在と地域体験を合わせて行うオーダーメイド移住体験事業を実施した。							
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)		令和5年8月から短期滞在住宅を利用した地域体験事業を開始し、首都圏イベント等で周知を図っている。徐々に利用者数が伸びてきている状況にある。				
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由						
	4 現状維持	オーダーメイド移住体験事業のほか従来の地域体験ツアーの実施も検討し、目標達成に向け取り組んでいく。						
今後の方針・改善策等 (A)	オーダーメイド移住体験事業のさらなる周知を図り、また地域体験ツアーの実施も検討し、実際に地域を見て触れられる機会の提供を図る。							

重要業績評価指標 (KPI)	移住希望者短期滞在支援者数			目標値	25人	(R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		21人				
	目標と実績	R2	20人	0人	0.0%	短期滞在住宅0棟		
		R3	22人	0人	0.0%	短期滞在住宅0棟		
		R4	23人	0人	0.0%	短期滞在住宅0棟		
		R5	24人	17人	70.8%	短期滞在住宅1棟		
		R6	25人	14人	56.0%	短期滞在住宅1棟		
		合計						
主な事業の取組状況	村内に移住希望者が生活体験を行う短期滞在住宅を1棟整備し令和5年8月より利用を開始、短期滞在と地域体験を合わせて行うオーダーメイド型の移住体験事業を実施している。							
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)		現在湯本地区に1棟整備しているが、場所柄利用する移住希望者に偏りが出ている。				
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由						
	4 現状維持	利用希望者数は横ばいであることから現状維持とし、首都圏イベント等でさらなる周知を図る。						
今後の方針・改善策等 (A)	利用時の交通費等補助を行うなど、さらなる利用促進を図る。また、利便性の良い場所への整備を検討する。							

重要業績評価指標 (KPI)	空き家バンク相談件数			目標値	40件	(R6)	担当課	建設課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		17件				
	目標と実績	R2	35件	14件	40.0%	物件登録3、利用登録11、成約0		
		R3	35件	20件	57.1%	物件登録1、利用登録19、成約0		
		R4	40件	13件	32.5%	物件登録1、利用登録12、成約0		
		R5	40件	5件	12.5%	物件登録2、利用登録2、成約1		
		R6	40件	5件	12.5%	物件登録4、利用登録1、成約0		
合計								
主な事業の取組状況	空き家の利活用及び中古住宅の流通促進を通して、空き家の発生や増加を抑制するとともに、地域の活性化及び地域の環境保全を図ることを目的に、村内の空き家の所在や詳細の把握、所有者へ空き家バンク登録への誘導や促進、利用希望者への現地案内等の調整を行った。							
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	2 未達成 (50%未 満)	問題・課題等 (C)	村内で利活用が即時可能な空き家数が少なく、修繕を要したり取り壊し必須の空き家も目立つ。利用登録者にスムーズに紹介できる物件に限りがある。				
	理由							
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由						
	4 現状維持	U・I・Jターンの様々な移住者にとって、空き家の利用は効果があり、今後も現状維持で事業推進していく。						
今後の方針・改善策等 (A)	「住める空き家・住みたくなる空き家」としての整備を図るため、各種補助等を周知広報し、利活用が困難な空き家に関しては解体を促す等、新築のための土地利用の推進・検討も併せて行っていく。							

重要業績評価指標 (KPI)	片付け・リフォーム補助利用件数			目標値	3件	(R6)	担当課	建設課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		3件				
	目標と実績	R2	3件	4件	133.3%	改修補助3件、家財撤去1件		
		R3	3件	2件	66.7%	改修補助1件、家財撤去1件		
		R4	3件	0件	0.0%	改修補助0件、家財撤去0件		
		R5	3件	0件	0.0%	改修補助0件、家財撤去0件		
		R6	3件	1件	33.3%	改修補助1件、家財撤去1件		
合計								
主な事業の取組状況	空き家バンク登録物件所有者または利用者が登録物件に居住するための家財処分や改修等費用に対し、最大3/5、150万円の補助を行っている。							
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	2 未達成 (50%未 満)	問題・課題等 (C)	一定の効果は見込めたが、賃貸のニーズが多くしかも比較的低廉な家賃設定であるために費用捻出のハードルが高く、空き家の特性上貸主の費用負担を求めることも難しいため利用が進まない。				
	理由							
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由						
	4 現状維持	移住者希望者にとって空き家の利用は効果があり、今後も現状維持で事業推進していくとともに、除去費用への補助も併せニーズに応じ展開していく。						
今後の方針・改善策等 (A)	「住める空き家・住みたくなる空き家」としての整備を図るため、各種補助等を周知広報し、利活用が困難な空き家に関しては解体を促す等、新築のための土地利用の推進・検討も併せて行っていく。							

重要業績評価指標 (KPI)	関係人口創出のための取り組み回数			目標値	4回	(R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		2回				
	目標と実績	R2	2回	1回	50.0%	ファンクラブ		
		R3	2回	4回	200.0%	ファンクラブ、オンライン交流事業、てんぐい作成、フォトコンテスト		
		R4	2回	4回	200.0%	ファンクラブ、オンライン交流事業、てんぐい作成、カレンダー作成		
		R5	3回	4回	133.3%	ファンクラブ、カレンダー作成、PRグッズ制作、PR大使活用事業		
		R6	4回	4回	16.0%	ファンクラブ、カレンダー作成、PRグッズ制作、PR大使活用事業		
		合計						
主な事業の取組状況	天栄ファンクラブ制度の運営、村オリジナルグッズ作成・配布、カレンダー作成、PR大使を活用した事業等、さまざまなターゲットに対して関係人口創出の取り組みを実施した。							
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)	ファンクラブ制度の他、PR大使を活用しさまざまなターゲットにアプローチできた。					
	5 達成 (100%以上)							
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由						
		4 現状維持	今後も直接・間接問わず関わりをもってもらえる事業を検討していくため現状維持とする。					
今後の方針・改善策等 (A)	本関係人口創出事業によりつながった縁をより深化させるとともに、サポーター制度申込者やふるさと納税寄附者等、様々な入り口からの関係人口を取り込んでいくため、工夫しながら幅広く今後も広めていく。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和6年度)

基本目標	基本目標2 天栄村への新しいひとの流れの創出								
施策	2. 観光・交流の促進								
重要業績評価指標 (KPI)	観光入込客数			目標値	1,630千人	(R6)	担当課	産業課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	H30	 	438千人	 				
	目標と実績	R2		220千人	355千人	161.4%			
		R3		260千人	394千人	151.5%			
		R4		300千人	447千人	149.0%			
		R5		380千人	468千人	123.2%			
		R6		470千人	521千人	110.9%			
		合計		1,630千人	2,185千人	134.0%			
主な事業の取組状況	天栄村観光協会と連携し、観光PRや教育旅行等の誘致活動、天栄村サポーター事業、宿泊補助事業等を実施し、誘客の促進に努めた。								
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)		各種事業のPRにより、誘客に繋がっており、目標値を達成しているが、日々変化する観光需要に対応することが必要である。各事業所では、インバウンド対策などフレキシブルな対応が求められている。					
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由							
	4 現状維持	誘客の促進のため、現状維持とする。							
今後の方針・改善策等 (A)	観光協会が中心となり、インバウンド対策の充実と、各事業所での魅力発信や観光資源の活用を強化し、安定した誘客に努める。								

重要業績評価指標 (KPI)	滞在型誘客促進事業			目標値	100件	(R6)	担当課	産業課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	H30	 	97件	 				
	目標と実績	R2		100件	16件	16.0%	延べ200人		
		R3		 	 	 			
		R4		 	 	 			
		R5		 	 	 			
		R6		 	 	 			
		合計		 	 	 			
主な事業の取組状況	令和2年度で事業終了。								
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)		-					
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由							
	2 指標の変更を検討	-							
今後の方針・改善策等 (A)	-								

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和6年度)

基本目標	基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実							
施策	1. 結婚希望の実現							
基本目標指標	合計特殊出生率 出生数			目標値	1.30 195人	(R2～R6平均) (R2～R6累計)	担当課 健康福祉課	
事業経過 (合計特殊出生率)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		1.19		(H27～R1平均)		
	目標と実績	R2	1.30		0.97	74.6%		
		R3			1.40	91.2%	出生数30人	
		R4			0.70	78.7%	出生数16人	
		R5			1.19	81.9%	出生数25人	
		R6			0.95	80.2%	出生数18人	
平均		1.30	1.04	80.2%				
事業経過 (出生数)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		189人		(H27～R1累計)		
	目標と実績	R2	195人		20人	10.3%		
		R3			33人	27.2%	合計特殊出生率1.4%	
		R4			16人	35.4%	合計特殊出生率0.7%	
		R5			25人	48.2%	合計特殊出生率1.2%	
		R6			18人	48.2%	合計特殊出生率1.0%	
合計		195人	94人	48.2%				
主な事業の取組状況(D)	子育て支援に関する支援事業の見直し、補助事業の拡充と実施。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)		子育て支援制度とともに、親が安心して生活できる基盤作りと仕事の安定。子育ての運動性が必要。				
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	4 現状維持	子育て支援については、一過性のものではなく、中長期的な成果を目的としている。						
今後の方針・改善策等(A)	継続的かつ取り組みの実施が必要。							
重要業績評価指標(KPI)	てんえい縁結び応援サポーターによる婚約数			目標値	5組	(R2～6累計)	担当課 企画政策課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		0組				
	目標と実績	R2	5組		0組	0.0%	サポーター数:2名	
		R3			0組	0.0%	サポーター数:9名	
		R4			0組	0.0%	サポーター数:11名	
		R5			1組	20.0%	サポーター数:12名	
		R6			0組	0.0%	サポーター数:12名	
合計		5組	1組	20.0%				
主な事業の取組状況	独身者がいつでも気軽に相談できる体制確保のため縁結び応援サポーター制度を充実させ、地域の結婚希望の男女の出会いの創出やきっかけづくりに繋げる。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)		引き合わせることができる結婚希望者数が少なく、互いの条件に合うマッチングができていないため、結婚希望者の掘り起こしが必要。				
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	4 現状維持	ニューノーマルでの婚活を標準化し、確実な成婚への支援を確保するため現状維持とする。						
今後の方針・改善策等(A)	結婚への機運の醸成等きっかけをつくり、サポーターによる切れ目のない支援を行えるよう、サポーター活動の充実のための養成講座等を実施する。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和6年度)

基本目標	基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実							
施策	2. 出産・子育て支援							
重要業績評価指標 (KPI)	特定不妊治療費助成による妊娠成功件数			目標値	8件	(R2～R6累計)	担当課	健康福祉課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		7件		(H27～R1累計)		
	目標と実績	R2		2件	25.0%			
		R3		0件	25.0%	申請延件数 5件		
		R4		1件	37.5%	申請延件数 3件		
		R5		-	37.5%	助成事業廃止		
		R6		-	37.5%			
合計		8件	3件	37.5%				
主な事業の取組状況	特定不妊治療の保険適用に伴い、助成事業廃止							
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)		-				
	1 未実施・把握できない							
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由						
	2 指標の変更を検討	特定不妊治療の保険適用に伴い、助成事業を廃止						
今後の方針・改善策等 (A)	医療保険が適用されず高額の治療費に係る不妊治療に対する経済的負担の軽減について検討							

重要業績評価指標 (KPI)	周産期死亡数			目標値	0件	(R6)	担当課	健康福祉課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	R1		-					
	目標と実績	R2		0件	0件	100.0%			
		R3		0件	1件	0.0%	早期新生児死亡		
		R4		0件	0件	100.0%	なし		
		R5		0件	0件	100.0%	なし		
		R6		0件	0件		なし		
合計									
主な事業の取組状況	妊娠届があった妊婦に対して、母子健康手帳及び妊婦健康診査受診票(15回分公費負担)を交付し、妊娠早期から継続的な支援を実施している。								
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)		予期せぬ妊娠をした際の相談窓口の周知徹底					
	5 達成(100%以上)								
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由							
	4 現状維持	引き続き、妊娠・出産等に係る支援体制整備を図る。							
今後の方針・改善策等 (A)	今後も継続して、切れ目ない支援を継続。								

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和6年度)

基本目標	基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実								
施策	3. 特色ある学びの場の形成								
重要業績評価指標(KPI)	全国学力・学習状況調査 (問題全国平均正答率の比較)			目標値	全国平均を上回る	(R6)	担当課	教育課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	R1	/	全国平均と同程度	/	村内小・中学校全国学力検査結果			
	目標と実績	R2	R3	全国平均を上回る	なし	/	R2は全国学力・学習状況調査なし		
		R4	R5	全国平均を上回る	小: 全国平均下回る 中: 全国平均と同程度	/	小学校は全国平均を下回る、中学校は全国平均と同程度		
		R6	合計	全国平均を上回る	小: 全国平均下回る 中: 全国平均下回る	/	小学校は全国平均を下回る、中学校は全国平均を下回る		
		R2	R3	全国平均を上回る	小: 全国平均下回る 中: 全国平均下回る	/	小学校は全国平均を下回る、中学校は全国平均を下回る		
		R4	R5	全国平均を上回る	小: 全国平均下回る 中: 全国平均下回る	/	小学校中学校ともに全国平均を下回る		
		R6	合計	全国平均を上回る	小: 全国平均下回る 中: 全国平均下回る	/	小学校中学校ともに全国平均を下回る		
県教育委員会による「第7次福島県総合教育計画」による“学びの変革推進プラン”を展開していく中で、学びの変革によって資質・能力を確実に育成することを推進するとともに、全国学力・学習状況調査とふくしま学力調査の2つの調査を効果的に活用することで、児童生徒一人ひとりの学力の伸びや学習等に対する意識、生活状況等の把握や、教育施策の成果・課題を検証し、改善策を構築していき、学力を確実に伸ばす教育を推進した。									
目標(KPI)達成分析(C)	評価	2 未達成(50%未満)		問題・課題等(C)	令和6年度は、小学校・中学校ともに全国平均を下回った。				
指標および目標値の評価(C)	評価	理由							
指標および目標値の評価(C)	4 現状維持	前年度までの達成率、及び児童生徒の中長期的なWell-being実現を見据えると、目標値は適正であると考えます。							
今後の方針・改善策等(A)	県が推進する学びの変革による「個別最適化された学び」「協働的な学び」「探究的な学び」を求め、対話する力や表現する力、納得解を生み出す力、非認知能力の育成を重視しながら、村教育施策において都度、効果検証、課題把握、方策展開の流れを意識し、学校現場と密接に連携を図ることで確かな学力を定着させる。民間塾講師からの指導を取り入れ、学力向上を図る。								
重要業績評価指標(KPI)	英検3級取得率(中学校卒業まで)			目標値	30.0%	(R6)	担当課	教育課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	R1	/	12.0%	/	3級以上取得生徒/村立中学生			
	目標と実績	R2	R3	30.0%	19.1%	63.7%	26名/136名		
		R4	R5	30.0%	18.5%	61.7%	24名/130名		
		R6	合計	30.0%	24.4%	81.3%	29名/119名		
		R2	R3	30.0%	23.4%	78.0%	26名/111名		
		R4	R5	30.0%	13.6%	45.3%	15名/110名		
		R6	合計	30.0%	/	/	/		
中学生が在学中を含んで中学校卒業までに全員が英語検定3級以上を取得することを目指し、年3回の英語検定の受講料を補助する。									
目標(KPI)達成分析(C)	評価	2 未達成(50%未満)		問題・課題等(C)	英語検定3級は、中学校卒業レベル相当であることから、卒業までに全員が取得することを目指しているが、受講料補助による合格率向上への寄与には限界がある。				
指標および目標値の評価(C)	評価	理由							
指標および目標値の評価(C)	4 現状維持	全国の中学生の英語教育実施状況調査によると、英検3級相当以上の割合が伸びている傾向にある。村内でも経年では着実な向上がみられているため、目標値は適正であると考えます。							
今後の方針・改善策等(A)	英語学習意欲の向上に繋がっているため事業方針・内容については現状維持とし、他の英語教育施策との効果的な実施とあわせ、引き続き支援していく必要がある。								

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和6年度)

基本目標	基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実						
施策	4. 若者求心力の創出						
重要業績評価指標(KPI)	村外の大学生と地元住民との交流事業の開催		目標値	400人	(R2～R6累計)	担当課 湯本支所	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)	
	基準値	R1		-			
	目標と実績	R2	400名		76名	19.0%	オンラインでの事業展開を実施
		R3			10名	21.5%	文化祭展示への協力
		R4			18名	26.0%	eスポーツ交流
		R5			14名	29.5%	運動会、eスポーツ、文化祭等での交流
		R6			10名	32.0%	運動会、eスポーツ等での交流
		合計			400名	128名	32.0%
主な事業の取組状況	湯本地区合同大運動会、eスポーツ体験会等で村外の学生たちに参加していただき、地域の方との交流を図った。						
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)	運動会は現地、eスポーツはオンラインで交流したが、今後も引き続き交流形態について検討していきたい。				
	2 未達成(50%未満)						
指標および目標値の評価(C)	評価	理由					
		4 現状維持	都市部と農村部との交流や若者の定着、流出抑制を図るためにも実現に向かって努力したい。				
今後の方針・改善策等(A)	都市部との交流及び地域の方々の生きがいづくり、若者の村外流出防止、故郷への愛着等図るためにも引き続き事業展開を図っていきたい。						

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和6年度)

基本目標		基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成						
基本目標指標	”住みやすい”と答えた人の割合			目標値	72.5%	(R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		52.3%				
	目標と実績	R2		-				
		R3		-				
		R4		-				
		R5		-				
		R6	72.5%	55.5%	76.6%	住みやすい・どちらかといえば住みやすいの回答合計		
		合計						
主な事業の取組状況(D)	令和6年10月に村内在住の15歳以上65歳未満の方から無作為に抽出した500名を対象に村民アンケートを実施した。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	3 未達成(80%未満)		問題・課題等(C)	前回調査時(R1)から3ポイント上昇しているが、「住みやすい」との回答は3ポイント減少しているため、各施策の更なる改善、推進を図る必要がある。			
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	4 現状維持	住民の7割程度から、住みやすいとの回答が得られないと、住みやすい村とはいえないため、現状維持とする。						
今後の方針・改善策等(A)	本アンケート結果をもとに第3期戦略では様々な施策を展開していく。							

施策		1. 地域連携による経済・生活圏の形成						
重要業績評価指標(KPI)	郡山広域圏における連携の推進			目標値	継続	(R2~R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		継続		都市圏ビジョン改訂		
	目標と実績	R2		継続	100.0%	連携協約の一部変更・PR映像制作		
		R3		継続	100.0%	都市圏ビジョン改訂・公民協奏パートナーシップ包括連携協定締結		
		R4		継続	100.0%	新規事業創出ワーキンググループ		
		R5		継続	100.0%	都市圏ビジョン2.0策定		
		R6		継続	100.0%	都市圏ビジョン2.0改訂・パートナーシップ懇談会		
		合計						
主な事業の取組状況	人口減少・少子高齢化社会においても、活力ある地域経済を維持するとともに、圏域住民全体が将来も安心して快適な生活が送れる地域づくりを目指し、17市町村が連携し各種事業に取り組んでいく。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	5 達成(100%以上)		問題・課題等(C)	SDGsやDXの推進等、新たな分野への情報共有や連携を通し、圏域全体で住民の生活水準向上や課題解決に寄与することができている。			
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	4 現状維持	市町村規模等の違いから、構成市町村と完全に足並みを揃えて事業展開することは難しいが、意識の醸成や情報共有でも効果は見られ、今後も現状維持していくことが妥当と思われる。						
今後の方針・改善策等(A)	郡山市を中心として各種連携事業に取り組み、誰一人取り残されないSDGsの理念のもと、子どもやZ世代を含む若者から高齢者まで全世代・全員が活躍できる圏域を目指す。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和6年度)

基本目標	基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成					
施策	2. 誰もが暮らしやすい生活環境づくり					
重要業績評価指標(KPI)	バス・タクシー利用券の利用件数		目標値	40件	(R6)	担当課 企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)
	基準値	R1		22件		バス17件、タクシー5件
	目標と実績	R2	30件	21件	70.0%	バス15件、タクシー6件
		R3	30件	20件	66.7%	バス12件、タクシー8件
		R4	30件	32件	106.7%	バス13件、タクシー19件
		R5	30件	26件	86.7%	バス11件、タクシー15件
		R6	40件	41件	102.5%	バス10件、タクシー31件
		合計				
主な事業の取組状況	天栄村高齢者バス利用助成事業、天栄村高齢者等タクシー利用助成事業ともに、ホームページへの掲載や各種事業、イベントに併せてチラシの配布を行い利用の促進を図った。					
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)	目標値を達成することができなかった。助成額を増やしてほしいという要望が多くあり、令和6年度に助成額を大幅に上げた。			
	4 ほぼ達成(80%~99%)					
指標および目標値の評価(C)	評価	理由				
	4 現状維持	今後も交通弱者の需要は見込まれるため現状維持とする。				
今後の方針・改善策等(A)	住民ニーズや本村の交通や移動の環境を全体的に把握し、状況に応じ要綱見直しを図る等、高齢者や障害者等への公共交通確保の観点から継続して的確な支援を行っていく。					

重要業績評価指標(KPI)	福祉車両貸出件数			目標値	50件	(R6)	担当課 健康福祉課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)	
	基準値	R1		25件			
	目標と実績	R2	30件	22件	73.3%	実利用人数5人	
		R3	35件	11件	31.4%	実利用人数4人	
		R4	40件	38件	95.0%	実利用人数9人	
		R5	45件	36件	80.0%	実利用人数8人	
		R6	50件	21件	42.0%	実利用人数5人	
		合計					
主な事業の取組状況	福祉車両貸出事業として、村内に居住する自力で歩行が困難な高齢者や重度の身体障害者又は知的障害者等に対し、外出を支援するために福祉車両の貸出しを実施し、健康で生きがいのある長寿・福祉社会づくりを図る。						
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)	事業が周知されておらず、利用者が少ない。				
	2 未達成(50%未満)						
指標および目標値の評価(C)	評価	理由					
	4 現状維持	新規利用者がなく、定期利用していた方が車両を購入したため利用件数が減ったが、周知等により今後の需要が見込まれることから現状維持。					
今後の方針・改善策等(A)	広報活動や地域包括支援センター・ケアマネジャーへの周知活動を重点的に実施し、さらなる事業の浸透を目指すひつようがある。						

重要業績評価指標 (KPI)	高齢者生きがい活動支援事業参加者数			目標値	300人	(R6)	担当課	健康福祉課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		250人				
	目標と実績	R2	200人	180人	90.0%			
		R3	200人	153人	76.5%	水中14名、サロン77名、湯ったり62名		
		R4	250人	107人	42.8%	水中8名、サロン54名、湯ったり45名		
		R5	250人	96人	38.4%	ノルディック(水中)11名、サロン48名、湯ったり37名		
		R6	300人	96人	32.0%	ノルディック(水中)15名、サロン44名、湯ったり37名		
		合計						
主な事業の取組状況	高齢者の生きがいづくりを目的に、湯ったりミニデイサービス事業、ノルディックウォーク事業、いきいきサロン事業、湯本サロン事業を実施している。							
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	2 未達成 (50%未 満)	問題・課題等 (C)	継続的に参加している方が身体的事由により参加継続が困難になってしまうこと、新規参加者の確保。				
指標および目標値の評価 (C)	評価			理由				
	4 現状維持	高齢者の増加に伴い今後さらに需要、必要性が見込まれるため現状維持とする。						
今後の方針・改善策等 (A)	各種事業の実施形態を工夫し、事業展開の周知を図り、既存参加者の意欲向上・新規参加者数の増加を目指す。							

重要業績評価指標 (KPI)	地域自主サロン数及び参加者数			目標値	8か所	(R6)	担当課	健康福祉課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		4か所		参加者数50人		
	目標と実績	R2	5か所	4か所	80.0%			
		R3	6か所	5か所	83.3%	参加者数59人		
		R4	7か所	6か所	85.7%	参加者数66人		
		R5	8か所	5か所	62.5%	参加者数64人		
		R6	8か所	5か所	62.5%	参加者数61人		
		合計						
主な事業の取組状況	地域コミュニティ及び健康増進、介護予防の推進のため、各地区又はグループによる茶話会に健康体操や栄養指導、口腔衛生指導を実施。							
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	3 未達成 (80%未 満)	問題・課題等 (C)	各地区の運営に関する人材不足				
指標および目標値の評価 (C)	評価			理由				
	4 現状維持	歩いて行ける身近な地域内での介護予防・ご近所との仲間づくりの場を持つことが今後も重要であるため。						
今後の方針・改善策等 (A)	各サロンの活動を事例に、各地域におけるリーダーを育成し、新規自主サロンの立ち上げを目指す。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和6年度)

基本目標		基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成						
施策		3. 既存施設の利活用						
重要業績評価指標 (KPI)	生涯学習センター利用者数 体育施設利用者数			目標値	92,000人 39,000人	(R6) (R6)	担当課	生涯学習課
	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
事業経過 (生涯学習センター利用者数)	基準値	R1		76,776人				
	目標と実績	R2	80,000人	111,237人	139.0%	確定申告会場として利用		
		R3	83,000人	127,983人	154.2%	確定申告会場として利用		
		R4	86,000人	130,642人	151.9%	確定申告会場、期日前投票所として利用		
		R5	89,000人	131,457人	147.7%	確定申告会場として利用		
		R6	92,000人	140,572人	152.8%	確定申告会場として利用		
		合計						
事業経過 (体育施設利用者数)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		34,656人				
	目標と実績	R2	35,000人	16,937人	48.4%	新型コロナウイルス感染症防止策により利用停止の期間があった。		
		R3	36,000人	24,055人	66.8%	新型コロナウイルスワクチン接種会場として利用する期間があった。		
		R4	37,000人	18,804人	50.8%	利用団体の活動休止や工事による利用停止期間があった。		
		R5	38,000人	26,488人	69.7%	新型コロナウイルスの5類移行により利用者が増加した。		
		R6	39,000人	21,621人	55.4%	暑さの影響もあり野外・室内とも夏季の利用者が少なかった。		
合計								
主な事業の取組状況	<p>生涯学習センターについては、各種講座等主催事業の他、各種団体等への会議、活動への貸し出し利用、また、一般の方々等の図書室利用や中学生の下校時の待機場所としての利用がある。</p> <p>また、体育施設については天栄村総合農村運動広場、天栄村体育館、天栄村屋内運動場、天栄村屋内スポーツ運動場を村主催行事の他、村内外の個人、団体及び中学校の部活動等に貸し出ししており、令和5年12月より村内の高校生以下の利用は無料としている。</p>							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	3 未達成(80%未満)	問題・課題等(C)	施設が老朽化してきているため、今後の管理運営を計画的に行い、施設の修繕や施設備品等の更新を逐次行っていく必要がある。				
	理由							
指標および目標値の評価(C)	評価	4 現状維持	体育施設については、逐次、施設備品等の更新を行い、村内外の利用者を積極的に受け入れていく。					
	理由							
今後の方針・改善策等(A)	利用者が利用しやすい施設となるよう、適切な施設の管理運営に努めるため、必要に応じ修繕や備品等の更新等を行っていく。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和6年度)

基本目標	基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成							
施策	4. 消費喚起の拡充							
重要業績評価指標(KPI)	ふるさとサポーター会員数			目標値	550名	(R6)	担当課	産業課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		514名				
	目標と実績	R2		550名	553名	100.5%		
		R3		550名	508名	92.4%		
		R4		550名	515名	93.6%		
		R5		550名	559名	101.6%		
		R6		550名	600名	109.1%		
		合計						
主な事業の取組状況	天栄村を支えていただける応援団「天栄村サポーター」を募集する。サポーターには、HPやSNS等によりイベント等の案内を随時お知らせし、天栄村を応援いただく。さらに、村特産品及び商品紹介のチラシ等を送付し、更なるサポーターの獲得を図る。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	5 達成(100%以上)	問題・課題等(C)	特産品メニューの市場ニーズを把握し、組み合わせや発送時期を工夫し、マンネリ化しない取り組みが必要である。				
	理由							
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	4 現状維持	目標値を確保できるよう、現状維持とする。						
今後の方針・改善策等(A)	特産品メニューの見直しを定期的実施する。							